

東村山 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

国語 科目 論理国語

教科： 国語

科目： 論理国語

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：梅田） （2組：鮫島） （3組：持田） （4組：持田） （5組：鮫島） （6組：梅田）

使用教科書： （東京書籍 『新編論理国語』）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重して、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元【広がる風景】 「世界をつくり替えるために」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 (1)ア、ウ	・「世界をつくり替えるために」 小林康夫			○	【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】 ・文や文章の効果的な組み立て方や、接続の仕方について理解を深めている。	○	○	○	16
	B 単元 ことわざ 【知識及び技能】 (1)ア 作文「漢字で自分を表す」 定期考査	・国語表現・作文ステップアップ ・600文字作文		○		【知技】 ・長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。	○	○	○	12
	C 単元【現実の中で】 「安心について」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 (1)ア、エ	・「安心について」 廣淵升彦		○	○	【知技】 ・文や文章の効果的な組み立て方や、接続の仕方について理解を深めている。 【思判表】 ・読むことにおいて、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。	○	○	○	24
	D 単元【時代をひらく】 「最初のペンギン」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 (1)ア、エ、カ	・「最初のペンギン」 茂木健一郎			○	【知技】 ・言葉には言葉そのものを認識したり、説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】 ・タイトルに象徴される筆者の考えを手掛かりにして、自分の生き方について考えることができる。 【主】 ・積極的にタイトルに象徴される筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして自分の経験を振り返り、これからの生き方について考えようとしている。	○	○	○	16
	定期考査						○	○		1
2 学 期	E 単元【新しい視点から】 「物語の外から」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 (1)ア、カ ・修学旅行調べ学習	・「物語の外から」 岸政彦 ・修学旅行調べ学習（一台端末）			○	【知技】言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成・論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主】他者と協力をしながら、一台端末を使用し、発表の準備をすることができる。			1	24
	定期考査					○	○		1	
	F 単元【科学と人間】 「ロボットが隣人になるとき」 【知識及び技能】 (1)ア、イ 【思考力、判断力、表現力等】 (1)ア 【作文】自分をアピールする 定期考査	・「ロボットが隣人になるとき」 野矢茂樹			○	【知技】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、内容を解釈している。				24
定期考査						○	○		1	
3 学 期	G 単元【明日をみつめて】 「ホンモノのおカネの作り方」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 (1)ア、カ 【作文】志望動機 定期考査	・「ホンモノのおカネの作り方」 岩井克人		○	○	【知技】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思判表】関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深めている。				24
	定期考査					○	○		1	
									合計	145

東村山 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

国語 科目 古典講読

教科： 国語 科目： 古典講読

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：持田） （2組：持田） （3組：梅田） （4組：梅田） （5組：持田） （6組：持田）

使用教科書： （東京書籍 『新編古典探究』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重して、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典講読 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	古典に親しむことで言葉のもつ価値を認識し、自己の考えを深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A単元【漢文】 【知識及び技能】 漢文の訓読の基礎を理解し、書き下し文にすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 故事の内容について、古語の意味を手掛かりに、内容や展開を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に親しみをもち、主体的に自らの言語感覚や考え方を深めようとしている。	・指導事項 訓点 訓読文 書き下し文 古語の意味 現代語訳  ・教材 教科書・図説			○	【知識・技能】 ・訓読文を書き下し文にすることができる。 ・文中の語句の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・古語の意味を理解し、「蛇足」の内容や展開を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物が丁寧に取られ、期限を守って提出されている。 ・授業に必要な教材を準備し、集中して取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査					○	○		1	
	B単元【『土佐日記』冒頭】 【『十訓抄』「大江山の歌」】 【知識及び技能】 古語や古文を読解する上で基礎的な文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古文の内容について、古語の意味を手掛かりに、内容や展開を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日記文や談話に親しみをもち、主体的に自らの言語感覚や考え方を深めようとしている。	・指導事項 暗唱 古語の意味 現代語訳  ・教材 教科書・図説	○		○	【知識・技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解している。 ・文中の語句の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・古語の意味を理解し、「大江山の歌」の内容や展開を理解している。 ・短文を暗唱し、歴史的仮名遣いに気を付けながら、音読している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物が丁寧に取られ、期限を守って提出されている。 ・授業に必要な教材を準備し、集中して取り組んでいる。	○	○	○	16
定期考査						○	○		1	
2 学 期	A単元【『更級日記』「門出」】 【知識及び技能】 古語や古文を読解する上で基礎的な文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古文の内容について、古語の意味を手掛かりに、内容や展開を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日記文に親しみをもち、主体的に自らの言語感覚や考え方を深めようとしている。	・指導事項 暗唱 古語の意味 現代語訳  ・教材 教科書・図説	○		○	【知識・技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解している。 ・文中の古語の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・古語の意味や時代背景を理解し、「門出」の内容や展開を理解している。 ・短文を暗唱し、歴史的仮名遣いに気を付けながら、音読している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物が丁寧に取られ、期限を守って提出されている。 ・授業に必要な教材を準備し、集中して取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査					○	○		1	
	B【伊勢物語】「初冠」 【知識及び技能】 古語や古文を読解する上で基礎的な文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古文の内容について、古語の意味を手掛かりに、内容や展開を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語に親しみをもち、主体的に自らの言語感覚や考え方を深めようとしている。	・指導事項 暗唱 古語の意味 現代語訳  ・教材 教科書・図説	○		○	【知識・技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解している。 ・文中の語句の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・古語の意味を理解し、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 ・二首の和歌の関係とその意図について理解している。 ・短文を暗唱し、歴史的仮名遣いに気を付けながら、音読している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物が丁寧に取られ、期限を守って提出されている。 ・授業に必要な教材を準備し、集中して取り組んでいる。	○	○	○	16
定期考査						○	○		1	
3 学 期	A単元【『源氏物語』「若紫」】 【知識及び技能】 古語や古文を読解する上で基礎的な文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古文の内容について、古語の意味を手掛かりに、内容や展開を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 作り物語に親しみをもち、主体的に自らの言語感覚や考え方を深めようとしている。	・指導事項 古語の意味 現代語訳  ・教材 教科書・図説			○	【知識・技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・古語の意味を理解し、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 ・二首の歌に込められたそれぞれの人物の心情を読み取っている。 ・短文を暗唱し、歴史的仮名遣いに気を付けながら、音読している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物が丁寧に取られ、期限を守って提出されている。 ・授業に必要な教材を準備し、集中して取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査					○	○	○	6	
	定期考査						○	○		1
									合計	77

東村山 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科

地歴 科目 歴史総合

教科: 地歴

科目: 歴史総合

単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 1組~ 6組

教科担当者: (1組: 山口) (2組: 小川) (3組: 山口) (4組: 山口) (5組: 山口) (6組: 小)

使用教科書: (高等学校 新歴史総合 第一学習社)

教科 地歴 の目標:

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開を理解し、様々な情報から調べまとめる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想し、考察・構想したことを説明したり議論する。
- 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に解決しようとし、日本国民としての自覚と愛情をもち、他国の文化を尊重する。

科目 歴史総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて、近現代の歴史を理解する。	課題の解決を視野に入れて、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を考察する。	歴史の大きな変化に着目し、問いを設け、資料を活用しながら歴史の学び方を習得する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・歴史の扉 【知識及び技能】 歴史を構成する種々の資料の特性とその取り扱いの留意点についてアウトラインを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 種々の資料にもとづいて歴史的新見方および考え方ができるようにし、またそこから現在とのつながりについて考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活に目を向けてその変化を調べ、歴史を実感できるように主体的に追究しようとする態度を養う。	・指導事項 ①日常生活の諸要素の中に歴史に関わる事項が含まれている。 ②清が東アジアに君臨した。 ③工業化の進展と国民国家の建設。 ④砂糖・紅茶・キャラコ。 ⑤国産化が世界を変容させる。 ⑥人々の政府を自らつくる。 ⑦権利意識の高揚、自由主義とナショナリズムの拡大。 ⑧英国の影響力の世界化。 ⑨ヨーロッパの衝撃。 ⑩日本の開国。 ⑪立憲国家日本の成立。 ⑫日本の帝国主義化～日清戦争。 ⑬日本の帝国主義化～日露戦争、韓国の植民地化。 ⑭日本の産業革命。 ・教材 教科書、準拠ノート、 授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけている。 【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		12
				○	○		24
2 学 期	・国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 第一次世界大戦・第二次世界体制がおこった理由と、戦争が社会や生活に及ぼした影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文字の資料以外に絵画・写真・映像などの資料を基にして、戦争や戦間期の人びとの生活のありようについて考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 「国際関係」や「大衆」というキーワードについてさまざまな視点から現代の問題と関連させつつ主体的に追究しようとする態度を養う。	・指導事項 ①第一次大戦。 ②ロシア革命と大戦後の国際協調の模索。 ③大戦とアジアおよび朝鮮・中国での民衆運動の高揚。 ④1920年代米国の繁栄。 ⑤大衆の政治参加。 ⑥世界恐慌と全体主義の台頭。 ⑦日本の中国侵略と第二次世界大戦。 ⑧大戦後の新しい国際秩序。 ・教材 教科書、準拠ノート、 授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけている。 【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。	○	○	○	
	定期考査			○	○		28
3 学 期	・グローバル化と私たち 【知識及び技能】 人・商品・情報の世界規模での急速な移動のありようについて、その原因とともに理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「グローバル化」が今日の社会や人びとの生活・文化に及ぼした影響について、積極的・消極的側面をそれぞれ資料を基にして考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現在進行形の「グローバル化」の中で自らのありようについて、自分の生活に立ち返りつつ考察し生き方を考えようとする。	・指導事項 ①アジア・アフリカの国々の独立。 ②核戦争の危機。 ③高度経済成長。 ④ベトナム戦争と文化大革命。 ⑤ドルショックと石油危機、西アジアの変容。 ⑦冷戦の終了とソ連邦解体。 ⑧「超大国」米国の動揺とグローバル化。 ・教材 教科書、準拠ノート、 授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけている。 【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。	○	○	○	
	定期考査			○	○		20
				○	○		合計 72



# 東村山 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱα

教科： 数学

科目： 数学Ⅱα

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：松本・入江）（2組：瀬川・加藤）（3組：入江）（4組：加藤）（5・6組：瀬川・原）

使用教科書： 数研出版 最新数学Ⅱ

教科 数学 の目標：

【知識・技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考・判断・表現】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【主体的に取り組む態度】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱα の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
いろいろな式、図形と方程式の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力。座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力。関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力。関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 式と計算 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること。 多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすること。 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。 粘り強く「柔軟に」考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。	・式と計算 多項式の乗法と因数分解 二項定理 多項式の割り算 分数式の乗法・除法 分数式の加法・減法 恒等式	【知識・技能】 ・3次の乗法公式及び因数分解の公式を用いて計算することができる。 ・二項定理を活用して、整式の一般項を求めることができる。 ・多項式の除法や分数式の四則計算について理解し、簡単な場合について計算することができる。 ・等式について理解を深め、恒等式となるような値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・3次の乗法公式や因数分解の公式を既に学習した数と式の計算と関連付けて多面的に考察することができる。 ・パスカルの三角形や組合せの考えを用いて二項定理について考察することができる。 ・分母が異なる分数式の計算を、数の計算と関連付けて多面的に考察することができる。 ・等式が恒等式であるための条件を考察することができる。 ・等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・3次の乗法公式や因数分解の公式を既に学習した数と式の計算と関連付けて多面的に考えようとしている。 ・パスカルの三角形や二項定理に関心をもち、学習に取り組もうとしている。 ・分母が異なる分数式の計算を、数の計算と関連付けて多面的に考えようとしている。 ・具体的な方程式と対比させて、等式が恒等式であるための条件を考えようとしている。	○	○	○	14
	B 等式・不等式の証明 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。	・等式・不等式の証明 等式の証明 不等式の証明 相加平均と相乗平均	【知識・技能】 ・不等式の性質を用いた不等式の証明の仕方について理解している。 ・相加平均と相乗平均の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・実数や不等式の性質を利用して不等式が成り立つことを証明することができる。 ・相加平均と相乗平均の関係を利用して、不等式が成り立つことを証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実数や不等式の性質を利用して、不等式が成り立つことを証明しようとしている。	○	○	○	8
	C 複素数と2次方程式の解 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。 2次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。	・複素数と2次方程式の解 複素数	【知識・技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算について計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・複素数の四則計算について考察することができる。 ・複素数の必要性や意味を、負の数の平方根と関連付けて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複素数の四則計算について複素数の性質を活用して、考えようとしている。 ・複素数の必要性や意味を、負の数の平方根と関連付けて考えようとしている。	○	○	○	4
2 学 期	2次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。	・2次方程式の解と判別式 解と係数の関係	【知識・技能】 ・2次方程式の解の公式や判別式の意味を理解し、2次方程式の解を求めたり、解を判別したりすることができる。 ・解と係数の関係を用いて、2次方程式の解の和や積などを求めることができる。 ・解と係数の関係を用いて、2次式を因数分解したり、2数を解とする2次方程式を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・2次方程式の解の公式が係数によって書き換えられることを説明することができる。 ・2次方程式の判別式を用いて2次方程式の解の個数を考察することができる。 ・2次方程式の解と係数にどのような関係があるのかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2次方程式の判別式を活用して、2次方程式の解の個数を考えようとしている。 ・2次方程式の解と係数にどのような関係があるのかを考えようとしている。	○	○	○	8
	D 高次方程式 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。	・高次方程式 剰余の定理と因数分解 高次方程式の解	【知識・技能】 ・剰余の定理や因数定理を理解し、多項式の因数分解や除法における余りを求めることができる。 ・因数定理や因数分解を利用して、高次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・因数定理を多項式の除法と関連付けて考察することができる。 ・高次方程式を利用して具体的な問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・因数定理を多項式の除法と関連付けて考えようとしている。	○	○	○	8
	E 図形と方程式 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。 簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。 数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	・点と直線 直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2直線の平行と垂直 ・円 円の方程式 円と直線 軌跡と領域 軌跡 不等式の表す領域 連立不等式と領域	【知識・技能】 ・座標平面上の点について理解し、2点間の距離を求めることができる。 ・数直線上で線分を内分・外分する点及び座標平面上の線分を内分・外分する点の座標を求めることができる。 ・与えられた条件を用いて、平面上の直線の方程式を求めることができる。10 ・2直線の図形的な関係について理解し、平行・垂直な直線や直線に関して対称な点を求めることができる。 ・点と直線の距離について理解し、その長さを求めることができる。 ・与えられた条件を用いて、円の方程式を求めることができる。 ・円と直線の共有点の座標を、連立方程式を活用して求めることができる。 ・円の接線の方程式を求めることができる。 ・円と円の位置関係や共有点の座標を求めることができる。 ・軌跡について理解し、与えられた条件から軌跡の方程式を求めることができる。 ・与えられた不等式や連立不等式を座標平面上の領域として図示することができる。 【思考・判断・表現】 ・数直線上で線分を内分・外分する点及び座標平面上の線分を内分・外分する点の座標について考察することができる。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を利用して、図形の性質について証明することができる。 ・与えられた方程式がどのような図形を表すか、判断することができる。 ・円と直線の位置関係を、判別式や点と直線の距離を活用して説明することができる。 ・不等式の表す図形を考察したり、説明したりすることができる。 ・与えられた連立不等式を座標平面上の領域として図示し、それらを活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数直線上で線分を内分・外分する点及び座標平面上の線分を内分・外分する点の座標について考察しようとしている。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を活用して、図形の性質について証明しようとしている。 ・円と直線の位置関係を、判別式や点と直線の距離を活用して考えようとしている。 ・不等式の表す図形を考えた、説明したりしようとしている。	○	○	○	10
3 学 期				○	○	○	18
							70

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く(柔軟に)考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>指数関数と対数関数 指数法則 指数関数とそのグラフ 対数 対数の性質 対数関数とそのグラフ 常用対数</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。</li> <li>指数関数の値の変化やグラフの特徴について、多面的に考察することができる。また、指数関数の性質を用いて2つの数の大小を判断したり、指数関数を含む方程式や不等式を解いたりすることができる。</li> <li>対数と対数を相互に関連付けて対数の意味や、その基本的な性質について考察することができる。また、簡単な対数の値を計算することができる。</li> <li>対数関数の値の変化やグラフの特徴について、多面的に考察することができる。また、対数関数の性質を用いて数の大小を判断したり、指数関数を含む方程式や不等式を解いたりすることができる。</li> <li>常用対数の意義を理解し、常用対数の値を用いて整数の桁数や小数の位について求めることができる。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指数を整数へ拡張したときの指数法則について考察することができる。</li> <li>指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、対数関数のグラフをかきことができる。</li> <li>指数関数の性質を理解し、指数関数を含む方程式や不等式を解くことができる。</li> <li>指数と対数の性質に着目し、対数の桁数や小数の位について求めることができる。</li> <li>対数関数の値の変化やグラフの特徴について、表や式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。</li> <li>指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。</li> <li>指数と対数を相互に関連付けて、対数の性質について証明することができる。</li> <li>対数関数の値の変化やグラフの特徴について、表や式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。</li> <li>対数関数の性質を用いて、数の大小について判断することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指数を整数へ拡張したときの指数法則について考えようとしている。</li> <li>指数関数の値の変化やグラフの特徴について、表や式、グラフを相互に関連付けて多面的に考えようとしている。</li> <li>指数と対数を相互に関連付けて考えようとしている。</li> <li>対数関数の値の変化やグラフの特徴について、表や式、グラフを相互に関連付けて多面的に考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	26
2 学期	<p>微分法 平均変化率と微分係数 導関数 いろいろな関数の微分 接線 関数の増減 関数の極大・極小 関数の最大・最小 方程式・不等式への応用</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関数の平均変化率や微分係数を求めることができる。</li> <li>微分係数の図形的な意味を理解し、接線の傾きを求めることができる。</li> <li>導関数の定義にしたがって、関数の導関数を求めることができる。</li> <li>関数の導関数について計算することができる。</li> <li>導関数を利用して、微分係数や接線の方程式を求めることができる。</li> <li>関数とその導関数の関係を理解し、関数の増加、減少及び極値を調べ、グラフの概形をかきことができる。</li> <li>関数が極値をもつかどうかを調べたり、極値の条件から関数を求めたりすることができる。</li> <li>関数の増減やグラフを調べること、方程式の実数解の個数や関数の最大・最小を求めることができる。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事象から平均の速さや瞬間の速さを考察することができる。</li> <li>具体的な事象から導関数を考察することができる。</li> <li>グラフを利用して、関数が導関数とどのような関係にあるかを説明することができる。</li> <li>導関数の定義を利用して、関数の定数倍、和及び差の導関数について簡単に求める方法を考察することができる。</li> <li>導関数のグラフから、もとのグラフがどのような形状になるかを考察することができる。</li> <li>関数が極値をもつ条件について説明することができる。</li> <li>関数の増減やグラフを活用して、具体的な事象に関する問題を解決することができる。</li> <li>関数の増減を考察し、与えられた不等式が成り立つことを証明することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事象から平均の速さや瞬間の速さについて考えようとしている。</li> <li>具体的な事象から導関数を考察しようとしている。</li> <li>グラフを利用して、関数が導関数とどのような関係にあるかを説明しようとしている。</li> <li>導関数の定義を利用して、関数の定数倍、和及び差の導関数について簡単に求める方法を考えようとしている。</li> <li>導関数のグラフから、もとのグラフがどのような形状になるかを考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	14
	<p>積分法 不定積分 不定積分の計算 定積分 定積分の性質 面積</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原始関数について理解し、関数の不定積分を求めることができる。</li> <li>不定積分を用いて、定積分の値を計算することができる。</li> <li>定積分の性質を用いて、定積分の値を計算することができる。</li> <li>定積分を含む関数を求めることができる。</li> <li>上端が変数の定積分とそれを微分したものの関係を理解し、関数を求めることができる。</li> <li>積分の考えを利用して、与えられた図形の面積を求めることができる。</li> <li>絶対値のついた関数の定積分について計算することができる。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定積分の性質を用いて、定積分を計算する方法について考察することができる。</li> <li>上端が変数の定積分について考察し、その定積分と微分したものの関係について説明することができる。</li> <li>積分の考えを利用して、面積を求める方法を考察することができる。</li> <li>積分の考えを利用して、2つの曲線の間の面積を求める方法について考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定積分の性質を用いて、定積分を計算する方法について考えようとしている。</li> <li>上端が変数の定積分とそれを微分したものの関係について考えようとしている。</li> <li>積分の考えを利用して、面積を求める方法を考えようとしている。</li> <li>積分の考えを利用して、2つの曲線の間の面積を求める方法について考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
3 学期	<p>三角関数 一般角 弧度法 三角関数 三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式・不等式 加法定理 加法定理の応用 三角関数の合成</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>角の概念を一般角まで拡張することや弧度法を用いる必要性、弧度法の基本的な考え方について理解することができる。</li> <li>一般角に対する三角関数の定義や、三角関数の相互関係などの基本的な性質について理解し、三角関数の値を求めることができる。</li> <li>座標を入れたかえり、符号を変えたりしたときの動径が表す角と三角関数の値との関係を考察し、いろいろな角の三角関数の値を求めることができる。</li> <li>三角関数のグラフの特徴について理解し、与えられた三角関数のグラフをかきことができる。また、三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。</li> <li>三角関数の性質や単位円、グラフなどを用いて、三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。</li> <li>三角関数の加法定理について理解し、与えられた三角関数の値を求めることができる。また、2倍角の公式を活用して与えられた三角関数の値を求めたり、三角関数を含む方程式を解いたりすることができる。</li> <li>三角関数の合成を理解し、与えられた三角関数を合成したり、三角関数の合成を利用して最大値・最小値を求めることができる。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>座標を入れたかえり、符号を変えたりしたときの動径が表す角と三角関数の値との関係を考察したり、説明したりすることができる。</li> <li>三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。</li> <li>2つの三角関数のグラフの関係について考察したり、説明したりすることができる。</li> <li>単位円を利用して三角関数の加法定理について考察することができる。</li> <li>三角関数の合成を、グラフや加法定理と関連付けて考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>座標を入れたかえり、符号を変えたりしたときの動径が表す角と三角関数の値との関係を考えたり、説明したりしようとしている。</li> <li>三角関数の式とグラフの関係について多面的に考えようとしている。</li> <li>単位円を利用して三角関数の加法定理について考えようとしている。</li> <li>三角関数の合成を、グラフや加法定理と関連付けて考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	18
						合計
						70



# 東村山 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 地学基礎

教科：理科 科目：地学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1組～ 6組

教科担当者：（1組：小系）（2組：向田）（3組：橋本）（4組：橋本）（5組：小系）（6組：向田）

使用教科書：（改訂地学基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然現象について、理解するとともに観察・実験技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象について、特徴を見出して表現している。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象の理解に主体的にかかわり、見通しを持ったり振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。

科目 地学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
観察、実験などを通して地学的な事象・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 地学的な事象・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	地学的な事象・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を裏証、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したこと、言語活動を通して表現する。	地学的な事象・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 単元 地球の概観 【知識及び技能】 地球の形や大きさについて、測定の歴史を学び、その求め方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球の内部に層構造がみられることや、各層の構成物質の種類や性質、状態について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 地球の形と大きさ 地球の形の特徴と大きさ 地球の内部構造 地球内部の動き ネオバルノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 エラトステネスによる測定をもとに、計算によって地球の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 地球内部を構成する元素を示すグラフを読み取り、地球内部の構成物質の違いについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球の形と大きさの測定の歴史について意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	7
	2 単元 プレートの運動 【知識及び技能】 プレートの分布とその境界にみられる地球表面の特徴を学び、プレートの運動を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 プレートの動きから、プレート境界でみられる地形的な特徴を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 プレートの分布と運動 プレートの境界 地殻の変動と地質構造 変成作用 大地形の形成 ネオバルノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 プレートの種類と世界のプレートの分布を理解している。世界の火山帯が、プレートの収束境界で生じた造山運動で形成されたことを理解している。 【思考・判断・表現】 プレートの動きから、プレート境界でみられる地形的な特徴を説明できる。新層や褶曲を、その形から分類し、どのように形成されたかを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な新層や褶曲に興味を持ち、その形成について考察し、理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	3 単元 地震 【知識及び技能】 地震現象そのものについて学習し、震央・震源の決定については作図を通して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 震央決定・作図によって、震央・震源の位置を決定することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 地震の発生と分布 地震波の伝わり方 日本付近で発生する地震 ネオバルノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 地震の発生と分布の特徴について理解し、知識を身に付けている。日本付近の地震の分布と種類を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 大塚公次を利用して、初期微動継続時間から震源距離を求めることができる。南海地震前後の震戸開の変動を示すグラフから、地震のおこるしくみ、地震の種類について、地下のプレートと関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地震の発生と分布の特徴に関心を持ち、地震のおこるしくみについてプレートの運動と関連させて、意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	7
	4 単元 火山 【知識及び技能】 マグマの発生条件や粘性について、プレートの運動と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 マグマの性質と、噴火帯や火山帯との関係について学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 火山の分布 火山の形成とマグマ 火山の噴火 火山の地形 ネオバルノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 火山の形成過程について、地下のプレートと関連させて理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 世界の火山分布と日本の火山分布の資料から、マグマの発生する場所について、地下のプレートと関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界および日本の火山の分布に関心を持ち、火山活動について意欲的に学習しようとしている。火山の形成に関心を持ち、火山活動について意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	7
定期考査				○	○		1
2 学 期	5 単元 地球のエネルギー収支 【知識及び技能】 大気圏の放射構造や物質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 水の状態変化についての知識をもとに、対流圏で起こる現象について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 大気圏の形成 大気圏の種類 大気圏と物質 対流圏における水の変化 太陽放射と地球放射 地球を出入りするエネルギー ネオバルノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 大気圏の組成と圧力、大気圏の構造について理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 大気圏の組成、大気圧、大気圏の構造、オゾン層に関心を持ち、各種の気象情報を積極的に日常生活に利用しようとしている。	○	○	○	7
	6 単元 大気と海水の運動 【知識及び技能】 大気の大循環および海洋の大循環と熱の輸送の関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 太陽放射と地球放射のエネルギーの分布のグラフから、大気と海洋による熱の輸送について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 エネルギー収支の緯度分布 風 大気の大循環 海洋の構造 海洋の大循環 エルニーニョ現象とラニーニャ現象 ネオバルノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 エネルギー収支の緯度分布 風 大気の大循環 海洋の構造 海洋の大循環 エルニーニョ現象とラニーニャ現象 大気の大循環に関心を持ち、各地域での大気の流れについて意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	7
	7 単元 宇宙と太陽の誕生 【知識及び技能】 宇宙の始まりについて、観測や理論的な研究から明らかになったことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 太陽の活動について、簡潔を通して説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 宇宙の始まり 宇宙の始まり 太陽の誕生 太陽の活動 ネオバルノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 宇宙の始まり、銀河系の構造について理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 太陽の黒点の観察を通して、太陽の活動について理解を深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 太陽系の中心に位置し、地球から最も近い距離にある恒星である太陽に関心を持ち、地球上にさまざまな影響を与える太陽のエネルギーについて意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	7
	8 単元 太陽系と地球の誕生 【知識及び技能】 太陽系では、衝突と合体が繰り返り起こり、様々な天体が作られたことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 惑星の特徴を示す物理量、グラフで表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 太陽系の構造 太陽系の誕生 太陽系の惑星 生命の惑星・地球 ネオバルノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 太陽系の構造と誕生過程、地球型惑星と木星型惑星の違いを理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 太陽系の形成時の位置や質量などの違いによって、地球型惑星と木星型惑星の内部構造が違うことを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 太陽系を構成する天体やその誕生過程に関心を持ち、太陽系の成り立ちについて意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	7
定期考査				○	○		1
3 学 期	9 単元 地層と化石 【知識及び技能】 岩石の風化や河川による浸食、運搬、堆積について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 地層やそこから産出する化石の観察を通して、地層が堆積したときの環境や地層が形成された地質時代が推定できることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 地層の形成 地層の重なりとひょうり 堆積岩 化石と地質時代 ネオバルノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 堆積のしくみや河川の働きから、地層の形成について理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな化石のことで、示相化石と示準化石について関心を持ち、地質時代のできごとを解明する方法を意欲的に習得しようとしている。	○	○	○	6
	10 単元 絶滅と生物の楽進 【知識及び技能】 化石や地質学的な事象から、地球環境がどのように変化してきたかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球環境の変化に関する資料に基づいて、大気の変化と生命活動の相互のかわりを見出して理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 先カンブリア時代 古生代 中生代 新生代 ネオバルノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 先カンブリア時代から新生代第四紀までの、地球と生物の変遷を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 地質時代における生物群の移り変わりのようすに関心を持ち、地球の生きいを意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	4
定期考査							合計 70





東村山 高等学校 令和5年度（2 学年用）教科

保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： 加藤 和輝、杉山 泰正

使用教科書：（ 新高等保健体育ノート ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○陸上、バレーボール、水泳、スポーツテスト  【知識及び技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。  【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。  【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施  ・教材 ボール、タイマー、ビート版、ワークシート	【知識及び技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。  【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。  【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	40
2 学期	○水泳、バドミントン、ソフトボール  【知識及び技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。  【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。  【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施  ・教材 ビート版、ラケット、シャトル、バット、ボール、ベース、タイマー	【知識及び技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。  【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。  【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	40
3 学期	○長距離走  【知識及び技能】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。  【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。  【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 基本技術の習得 安全な競技の実施 基礎体力の向上 忍耐力の向上  ・教材 タイマー	【知識・技能】 自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。  【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて仲間とともに陸上競技を楽しむための調整の仕方を見付けている。  【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	25
							合計 105

東村山 高等学校 令和5年度（2 学年用）教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：古畑 孝太郎、新堀 陽子

使用教科書：（新高等保健体育ノート）

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○陸上、バドミントン、水泳、スポーツテスト  【知識及び技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。  【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。  【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施  ・教材 ラケット、シャトル、タイマー ビート板、ワークシート	【知識及び技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。  【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。  【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	40
2 学期	○水泳、バスケットボール、フットサル  【知識及び技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。  【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。  【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施  ・教材 ビート板、タイマー ボール、ワークシート	【知識及び技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。  【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。  【学びに向かう力、人間性等】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	40
3 学期	○長距離走  【知識及び技能】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。  【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。  【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 基本技能の習得 安全な競技の実施 基礎体力の向上 忍耐力の向上  ・教材 タイマー	【知識・技能】 自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。  【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて仲間とともに陸上競技を楽しむための調整の仕方を見つけている。  【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	25
							合計
							105

東村山 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組～2組

教科担当者：（1組：奥山）（2組：奥山）（3組：加藤）（4組：奥山）（5組：古畑）（6組：古畑）

使用教科書：（大修館書店 新高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康。安全について理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考し判断できるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進・体力の向上を目指す。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境を創り、活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	生涯の各段階における健康 【知識及び技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康における事象や情報などについて、自他や社会の課題を発見する。 【学びに向かう力、人間性等】 思春期と健康、結婚生活と健康、加齢と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・指導事項 生涯を通じる健康 ・教材 教科書、ワークシート ・一人1台端末の活用 振り返りでオンライン教材の活用	【知識・技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理して、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 思春期と健康、結婚生活と健康、加齢と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学期	労働と健康 【知識及び技能】 健康管理と安全管理が必要であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 健康管理や安全管理に関わる取組を整理し、個人生活や社会生活と関連付けて、自他や社会の課題を発見する。 【学びに向かう力、人間性等】 働く人の健康の保持増進について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・指導事項 働くことと健康、労働災害の防止 ・教材 教科書、ワークシート ・一人1台端末の活用 振り返りでオンライン教材の活用	【知識・技能】 労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたこと、労働災害を防止するには、過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 労働災害と健康について、健康管理や安全管理に関わる取組を整理し、個人生活や社会生活と関連付けて、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 労働災害と健康、働く人の健康の保持増進について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学期	健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組む。	・指導事項 働くことと健康、労働災害の防止 ・教材 教科書、ワークシート ・一人1台端末の活用 振り返りでオンライン教材の活用	【知識・技能】 健康課題 に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解している。 【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計 38

東村山 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1・2組：尾花）（3組：尾花）（4組：尾花）（5・6組：尾花）

使用教科書：（音楽Ⅰ Tutti+ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 音楽の美しさや旋律の良さを味わい、主体的、協働的に歌唱や器楽、鑑賞の活動に取り組もうとしている。

【思考力、判断力、表現力等】 音楽を演奏する上で必要な知識及び技能を、実技で表現できるための工夫ができています。

【主体的に取り組む態度】 音楽の美しさや旋律の良さを味わい、主体的、協働的に歌唱や器楽、鑑賞の活動に取り組もうとしている。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に取り組む態度】
音楽を演奏する上で必要な、楽譜に書かれている知識や歌唱技術、器楽の知識やその楽曲の時代背景を理解している。	音楽を演奏する上で必要な知識及び技能を、実技で表現できるための工夫ができています。	音楽の美しさや旋律の良さを味わい、主体的、協働的に歌唱や器楽、鑑賞の活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	・1学年の復習 楽譜に使われている音楽記号の意味や表現方法を理解し、音楽表現活動に生かすための知識を生かした音楽表現ができる。	・楽典 音符や記号を拍子にのっとした正しい記譜法で楽譜を完成させる。 教材；高校生のための音楽研究ノート					【主体的に取り組む態度】				4
	・歌唱 旋律やリズムを生かした歌唱表現ができる。	・ポピュラーミュージック歌唱 リズムの特性や旋律の特徴を理解させ、言葉の力を生かした合唱をさせる。		○			【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に取り組む態度】				10
	・器楽 正しい奏法や楽譜による演奏方法を理解し、拍子にのっとした演奏ができる。	・8分の6拍子による演奏 音階を正しい指使いで演奏させる。 TAB譜を理解させ、基本的な奏法を生かした演奏をさせる。 強拍を生かした拍子感のある演奏を目指す。			○		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に取り組む態度】				10
2 学 期	・歌唱 歌詞や情景を生かした発声方法や実技表現をすることが出来る。 ・器楽 ギター正しい奏法や構造、楽譜を理解し演奏することが出来る。	・同声二部合唱 リズムや音程を理解させ、正しい発声方法で合唱させる。 ・弾き語り コード弾きの基礎知識を学習させ、歌唱を生かすギター演奏を実践させる。		○	○		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に取り組む態度】				28
	・鑑賞 作曲者が生きた時代背景や楽曲の特徴を捉え、総合芸術やクラシック音楽の良さを味わう。	・ミュージカル オペラとミュージカルの共通点と相違点を理解させ、ミュージカルが生み出された背景や美しさを理解させる。				○	【知識及び技能】 【主体的に取り組む態度】				12
3 学 期	・創作 形式に沿った旋律を生み出し、正しい記譜法で作曲をすることが出来る。	・7・5調による旋律の作曲 言葉のイントネーションを考えさせ、旋律にするとどのような楽譜になるか学習させる。 教材；高校生の音楽研究ノート				○	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に取り組む態度】				6
											合計 70

東村山 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術

科目：美術Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 組～ 組

教科担当者：（12組：小野）（3組：小野）（4組：小野）（56組：小野）（組：）（組：）

使用教科書：（美術2 光村図書）

教科 美術Ⅱ

の目標：

- 【知識及び技能】○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。○意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。
- 【思考力、判断力、表現力等】○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】○主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

科目 美術Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。○意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	○主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		絵 ・ 彫	デ 映								
【知識及び技能に関する目標】 視覚に関する錯覚の効果を理解し、不思議なイメージを捉えている。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 錯視やイメージの重なりなどを基に、形や色彩を鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 不思議な世界を表す鑑賞活動に、主体的に取り組む。	○錯視、美術の様々な表現について					「知」 視覚に関する錯覚の効果、質感や空間など造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「鑑」 錯視や不思議な世界の表現の効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 「態表」 錯視やイメージの重なりなどを基に、不思議な世界を表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい錯視や不思議な世界の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。					2
【知識及び技能に関する目標】 イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージを捉え、絵具などの特性を生かし、計画を基に表す。 判断力、表現力等に関する目標 伝えたいメッセージや場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり、鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたい内容を効果的にポスターに表す創造活動に、主体的に取り組む。	○文化祭のポスターを制作する					【知・技】 イラストや写真、文字の形や色、構成などが感情にもたらす効果や、伝達したいことや場面、全体のイメージでとらえることを理解している。意図に応じて表現方法を工夫し、アクリルガッシュなどの技法や特性を生かし、計画的に見通しをもって表している。 【知・鑑】 伝えたいメッセージや場面などを基に主題を作成し、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練っている。意図に応じて表現方法を工夫し、作者の意図と表現の工夫、効果などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 【態表・態鑑】 伝えたいメッセージや場面などを効果的にポスターに表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。ポスターのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。					18
【知識及び技能に関する目標】 仮面の形や色、性格を表す表情や装飾物などの効果、伝達したい情報やイメージなどを捉え、材料や用具などの特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 表現したい思いや伝えたいものを基に、仮面の形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたい思いを自分の神様の仮面として豊かに表す創造活動に、主体的に取り組む。	○オリジナルの神様の仮面を作る					【知】 形や色彩の性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や神様の表情や装飾物などの造形的な特徴を基に、全体のイメージでとらえることを理解している。 【技】 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、アクリルガッシュなどの特性を生かし、見通しを持って創造的に表している。 【知・鑑】 仮面の伝達効果や洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 伝えたいメッセージや場面などを基に主題を作成し、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練っている。ポスターのよさや美しさを感じ取り、作者の意図と表現の工夫、効果などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 【態表】 主題を生み出し、仮面の伝達効果などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しを持って表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 【態鑑】 仮面の伝達効果や洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。					30
【知識及び技能に関する目標】 モダンテクニックの技法や偶然できた色や形の美しさを理解する。それらの技法を使って効果的な形や特徴の違いを利用して表現したイメージを意図に基づいて絵本として表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 モダンテクニックの技法を利用して、絵本の構想を練り、イメージを創意工夫し、色彩の見やすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 意図したイメージを絵本にまとめる創造活動に、主体的に取り組む。	○モダンテクニックを使って絵本を作る					「知」 モダンテクニックにより生まれた形や色彩の性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、絵本のイメージで捉えることを理解している。 「技」 イメージを基に素材の特徴や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。 「発」 イメージした内容などから主題を生成し、見やすさや美しさの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 「鑑」 見やすさや美しさの調和を感じ取り、現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 「態表」 イメージした意図や目的を絵本の構成で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」 絵本のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。					20
										合計	70

東村山 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教科： 芸術 科目： 書道Ⅱ 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組  
 教科担当者： ( 12組： 大河原 ( 56組： 大河原 ) ( 組： ) ( 組： ) )  
 使用教科書： ( 教育図書 「書Ⅱ」 )  
 教科 書道Ⅱ の目標：

- 【知識及び技能】 ・書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、またそれを発展させ、効果的に表現するための高度な技能を身に付けるようにする。書表現の各部の技術を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の臨書や創作を通して書的美を理解し、書表現や作者などに対する思考力、判断力を身に付ける。表現力と鑑賞力を高める。書表現の作品全体の美しさの表現。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ・書の学習活動を通して、書を愛好する心情を育てる。表現力を磨くことにより、自己を他に伝えたり他を理解する能力を育てる。愛をもって芸術表現を楽しむ。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、またそれを発展させ、効果的に表現するための高度な技能を身に付けるようにする。書表現の各部の技術を身に付ける。	・古典の臨書や創作を通して書的美を理解し、書表現や作者などに対する思考力、判断力を身に付ける。表現力と鑑賞力を高める。書表現の作品全体の美しさの表現。	・書の学習活動を通して、書を愛好する心情を育てる。表現力を磨くことにより、自己を他に伝えたり他を理解する能力を育てる。愛をもって芸術表現を楽しむ。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		漢 仮	漢	仮							
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>篆書の正しい知識を身に付け、各表現に合わせて筆などの使い方を学ぶ。</p> <p>篆書のさまざまな書</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>篆書の背景と文化、書風の変遷、特有の造形、特徴について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【表現】篆書の個性に対応した用筆・運筆、字形、全体の構成について考え全体の工夫をする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【鑑賞】篆書の書体の個性や、その背景にある歴史、文化に興味をもち、愛をもって自ら漢字の書の鑑賞に関する学習に取り組む姿勢が見える。</p>	<p>・篆書体の学習</p> <p>甲骨文、金文、小篆について理解する。特徴、用筆法を学ぶ</p>				<p>篆書の正しい知識を身に付け、各表現に合わせて筆などの使い方を学んでいること。</p> <p>篆書のさまざまな書</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>篆書の背景と文化、書風の變遷、特有の造形、特徴について理解していること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【表現】篆書の個性に対応した用筆・運筆、字形、全体の構成について考え全体の工夫をしていること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【鑑賞】篆書の書体の個性や、その背景にある歴史、文化に興味をもち、愛をもって自ら漢字の書の鑑賞に関する学習に取り組む姿勢が見えること。</p> <p>提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>					8
	<p>【知識及び技能】</p> <p>文化祭用作品の制作</p> <p>【表現】自己作品展示の意義や、画仙紙の表現について理解する。</p> <p>【鑑賞】多字表現における線質、字形、表情等から受ける印象について理解する。</p> <p>普段の授業で得たことを生かした表現を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【表現】自分のリズム、流れで全体を表現する。</p> <p>【鑑賞】展示作品の価値について考え、各書の実しさを捉えた表現ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら展覧会用表現の学習に愛をもって積極的に取り組もうとする。</p> <p>【鑑賞】自ら展覧会用作品の鑑賞に対する学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>文化祭用作品の作成（楷書・行書）</p>				<p>文化祭用作品の制作</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【表現】自己作品展示の意義や、画仙紙の表現について理解していること。</p> <p>【鑑賞】多字表現における線質、字形、表情等から受ける印象について理解していること。</p> <p>普段の授業で得たことを生かした表現を身に付けていること。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【表現】自分のリズム、流れで全体を表現できていること。</p> <p>【鑑賞】展示作品の価値について考え、各書の実しさを捉えた表現できていること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら展覧会用表現の学習に愛をもって積極的に取り組もうとしていること。</p> <p>【鑑賞】自ら展覧会用作品の鑑賞に対する学習活動に取り組もうとしていること。</p> <p>提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>					14
2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>隷書の学習</p> <p>【表現】隷書古典の書体や書風、と表現との関わりについて理解する。それらを各部の表現に生かす。</p> <p>【鑑賞】線質、字形、構え等と表現の関わり、中国の文化や時代も特色について理解する。</p> <p>各隷書の古典の美、個性を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【表現】隷書古典の美や個性に対応した用筆・運筆、字形、構成について工夫する。それらを作品全体に生かす。</p> <p>【鑑賞】各隷書の個性、個性について考え、美しさを味わう。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら隷書の個性的な表現の学習活動に愛をもって取り組もうとする。</p> <p>【鑑賞】自ら隷書の鑑賞の学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>隷書体の学習</p> <p>曹全碑・礼器碑</p> <p>乙瑛碑</p>				<p>隷書の学習</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【表現】隷書古典の書体や書風、と表現との関わりについて理解する。それらを各部の表現に生かしていること。</p> <p>【鑑賞】線質、字形、構え等と表現の関わり、中国の文化や時代も特色について理解していること。</p> <p>各隷書の古典の美、個性を理解していること。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【表現】隷書古典の美や個性に対応した用筆・運筆、字形、構成について工夫する。それらを作品全体に生かしていること。</p> <p>【鑑賞】各隷書の個性、個性について考え、美しさを味わっていること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら隷書の個性的な表現の学習活動に愛をもって取り組もうとしていること。</p> <p>【鑑賞】自ら隷書の鑑賞の学習活動に取り組もうとしていること。</p>					12
	<p>【知識及び技能】</p> <p>草書の学習</p> <p>【表現】草書の草書・篆書からの歴史的繋がりや、用筆・運筆など造形を理解して各部の表現する。</p> <p>【鑑賞】各草書の表現の特徴や、各書体に固有の造形や線質の細やかな特徴を理解する。</p> <p>各古典の特徴を生かした表現を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【表現】草書古典の個性に合致した技術に基づいてよく試行し工夫し、全体の表現に生かす。</p> <p>【鑑賞】草書古典の歴史的価値と造形的価値について考え、書の実しさを理解し感じ取る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら草書の書の表現学習に愛をもって取り組もうとする。</p> <p>【鑑賞】自ら草書の書の鑑賞活動に取り組もうとする。</p>	<p>草書体の学習</p> <p>十七帖</p> <p>書譜</p>				<p>草書の学習</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【表現】草書の草書・篆書からの歴史的繋がりや、用筆・運筆など造形を理解して各部の表現している。</p> <p>【鑑賞】各草書の表現の特徴や、各書体に固有の造形や線質の細やかな特徴を理解している。</p> <p>各古典の特徴を生かした表現を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【表現】草書古典の個性に合致した技術に基づいてよく試行し工夫し、全体の表現に生かしている。</p> <p>【鑑賞】草書古典の歴史的価値と造形的価値について考え、書の実しさを理解し感じ取っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら草書の書の表現学習に愛をもって取り組もうとしている。</p> <p>【鑑賞】自ら草書の書の鑑賞活動に取り組もうとしている。</p>					12
	<p>【知識及び技能】</p> <p>仮名交じりの書</p> <p>【表現】漢字仮名交じりの書の表現について理解したうえで表現すること。</p> <p>【鑑賞】漢字の書と異なった、漢字仮名交じり文の造形について理解すること。</p> <p>漢字と仮名を調和させて表現する技術を身に付けること。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【表現】漢字と仮名が調和し、文の内容に合致した表現ができていること。</p> <p>【鑑賞】現代社会における漢字仮名交じり書の意義について考え、美しさを味わっていること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら漢字仮名交じりの書の表現学習に興味を持ち、愛をもって取り組もうとしていること。</p> <p>【鑑賞】自ら漢字仮名交じりの書の鑑賞に興味を持ち、取り組もうとしていること。</p>	<p>2. 創作する</p> <p>好きな言葉や文を書く</p> <p>漢字仮名交じり文と日本語表記</p> <p>日常の表現</p>				<p>仮名交じりの書</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【表現】漢字仮名交じりの書の表現について理解したうえで表現していること。</p> <p>【鑑賞】漢字の書と異なった、漢字仮名交じり文の造形について理解していること。</p> <p>漢字と仮名を調和させて表現する技術を身に付けていること。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【表現】漢字と仮名が調和し、文の内容に合致した表現ができていること。</p> <p>【鑑賞】現代社会における漢字仮名交じり書の意義について考え、美しさを味わっていること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら漢字仮名交じりの書の表現学習に興味を持ち、愛をもって取り組もうとしていること。</p> <p>【鑑賞】自ら漢字仮名交じりの書の鑑賞に興味を持ち、取り組もうとしていること。</p> <p>提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>					6
3 学 期	<p>【知識・技能】</p> <p>【表現】古筆の作品について理解している。小筆の性質や用法について理解し、細かな表現を工夫する。</p> <p>【鑑賞】日本獨特の書である仮名と物語や日記などの文化の関わりを理解している。仮名の細やかな技法を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>【表現】仮名の古筆の表現された時代、作者などを理解したうえで、全体の造形について工夫して表現する。</p> <p>【鑑賞】仮名の古筆の価値とその根拠について考え、時代、作者など人物まで味わう。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら日本人として、仮名の書の表現学習に愛をもって取り組む。</p> <p>【鑑賞】自ら日本人として、仮名の書の鑑賞学習に取り組む。</p>	<p>1. 仮名の成立と種類、時代</p> <p>2. 文字の造形を学ぶ</p> <p>仮名の筆使い</p> <p>平仮名 単体</p> <p>変体仮名</p> <p>蓬萊切</p> <p>高野切三種</p>				<p>【知識・技能】</p> <p>【表現】古筆の作品について理解している。小筆の性質や用法について理解し、細かな表現を工夫している。</p> <p>【鑑賞】日本獨特の書である仮名と物語や日記などの文化の関わりを理解している。仮名の細やかな技法を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>【表現】仮名の古筆の表現された時代、作者などを理解したうえで、全体の造形について工夫して表現されている。</p> <p>【鑑賞】仮名の古筆の価値とその根拠について考え、時代、作者など人物まで味わっている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら日本人として、仮名の書の表現学習に愛をもって取り組もうとしている。</p> <p>【鑑賞】自ら日本人として、仮名の書の鑑賞学習に取り組もうとしている。</p> <p>提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>					18
											合計

東村山 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1～6組：江島 れお / 宮田 晴香 / 篠原会理 ）

使用教科書： （ All Aboard! English Communication II (CⅡ701)  
All Aboard! English Communication II ワークブック (東京書籍)  
HIGH SCHOOL ENGLISH It's OK! (浜島書店) / Active Listening 1 (第一学習者)  
COMMETコミット英単語900 (数研出版) / COMMETコミット英単語2学習ノート (数研出版) )

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 語彙・文法・発音と綴りなどの理解を深め、その知識を状況に応じて適切に活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 読み取ったり聞いたりした情報や相手の意図などを的確に理解し、自分の意見を踏まえて適切に表現したり伝え合う技能を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 実際の生活での言語使用の場面を想定し、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・基本的な単語の綴りが分り、それに関連して単語発音する技能を身につけている。音のつながりや意味のまとまりを意識しながら英文を読んだり、発音する技能を身につけている。 ・日常的・社会的な話題について、基本的な語句や文法事項を用いて情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、基本的な語句や文法を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝えることができる。また、その話題についての自分の気持ちなどを、論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自発的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ・相手が理解しやすいように、日常的・社会的な話題について、基本的な語句や文法を用いて、情報や考え、気持ちを論理性に注意して話して伝えようとしている。 ・自らの学習を振り返り、どうすればさらに良い表現ができるのか、振り返り改善に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 （「や 」）	話 （「発 」）						
A 単元Lesson 1 A Colorful Island 【知識及び技能】 関係代名詞whatを用いた文の形・意味を理解している。また、海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて調べた事項を整理・理解している。また自分で調べた事項を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 海外の観光地に関して書かれた文脈について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 海外の観光地に関して書かれた文脈について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	・指導事項 新活動① 歌 新活動② 単語テスト パフォーマンステスト：空港・病院・ホテルでのやり取りテスト 【題材内容】 イタリアのプラーノ島への旅行を報告するSNSを通して、その島の特色について学習する。 【言語材料】 関係代名詞：what 【言語活動】 海外で行ってみたい場所について、英語で述べることができる。 ・教材 All Aboard! English Communication II All Aboard! English Communication II ワークブック HIGH SCHOOL ENGLISH It's OK! Active Listening 1 COMMETコミット英単語900 COMMETコミット英単語2学習ノート	○	○	○	○	学期共通評価基準 ①授業中に生徒の言語活動への取り組み状況を観察する。（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ②本文の要約（各LessonのSummary）の音読やPair Talk, Fun Talk!あるいはActivityの各Stepへの取り組みを教員または生徒同士が評価する。（知識・技能、思考・判断・表現） 評価項目：取り組みの熱心さ、声の大きさ、発音の正確さなど ③本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているかを筆記テストする。（知識・技能、主体的に学習に取り組む態度） 中間・期末考査／評価問題／補充文法問題／10分間テストなど ④下記のテーマの説明に用いられる語句や文法事項及び表現を理解しているかを筆記テストする。（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）／『子供のころなりたかったもの』について伝える（Lesson 1）／「2つ以上のものを比べて説明する（Lesson 2）／「ある行動に対する意見や感想を述べる（Lesson 3）／人にしてもらいたいことについて伝える（Lesson 5） Activityワークシートなど ⑤上記課題の内容や提出状況（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） 【課題・提出物など】 ◎今年やってみたいことについての対話（Pre-Lesson）	○	○	○	○	12
B 単元Lesson 2 With the Beatles 【知識及び技能】 比較表現（more）（the most）を用いた文の形・意味を理解している。また、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について調べた事項を整理・理解している。また自分で調べた事項を用いて、理由などを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 世代を超えて人気のある音楽バンドに関して書かれた対話について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな人物について相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり、書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 世代を超えて人気のある音楽バンドに関して書かれた対話について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな人物について相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり、書いたりして伝え合おうとしている。	・指導事項 【題材内容】 語をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して、世代を超えて人気のあるバンドについて学習する。 比較表現：more, the most 【言語活動】 世代を超えて人気のある人物について、英語で述べることができる。 ・教材 上記に同じ ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	④下記のテーマの説明に用いられる語句や文法事項及び表現を理解しているかを筆記テストする。（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） 『子供のころなりたかったもの』について伝える（Lesson 1）／「2つ以上のものを比べて説明する（Lesson 2）／「ある行動に対する意見や感想を述べる（Lesson 3）／人にしてもらいたいことについて伝える（Lesson 5） Activityワークシートなど ⑤上記課題の内容や提出状況（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） 【課題・提出物など】 ◎今年やってみたいことについての対話（Pre-Lesson）	○	○	○	○	13
定期考査		○	○	○	○	◎海外で行ってみたい場所についての発表（Lesson 1）	○	○	○	1	
C 単元 Lesson 3 Wild Men 【知識及び技能】 知識] itを用いた文（It is ... (for → to ~)（It is ... that ~）の形・意味を理解している。また、ヨーロッパの国々の祭りに関する「ワイルドマン」について学んだり、身近な行事について調べた事項を整理・理解している。 【技能】 itを用いた文（It is ... (for → to ~)（It is ... that ~）の理解をもとに、ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり、身近な行事について自分で調べた事項を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」に関して書かれた文脈について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、身近な行事について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」に関して書かれた文脈について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、身近な行事について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	・指導事項 【題材内容】 新活動① 歌 新活動② 単語テスト 新活動③ 1Q1k'n パフォーマンステスト：外国人に日本文化を紹介する発表テスト ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチを通して、人間社会と自然について考える。 【言語材料】 itの用法 【言語活動】 身近な行事について、英語で紹介することができる。 ・教材 上記に同じ ・一人1台端末の活用 等 ITCを使用し日本文化を紹介するスピーチのプレゼン資料の作成	○	○	○	○	◎病院で診察を受けるときの医者と患者の対話（Communication 1） ◎世代を超えて人気のある人物についての発表（Lesson 2） ◎自分がどんなときにどんな感情になるのかについて書かれた英文の発表（Word Box 1） ◎身近な行事や祭りについての発表（Lesson 3） ◎好きな物語の紹介文の発表（Lesson 4） ◎「ずっと…し続けています」という文の発表（Extra Target 1） ◎準備ワークブック（各LessonのLet's Practice!）	○	○	○	○	13
D 単元 Lesson 4 Little Hero 【知識及び技能】 知識]関係疑問文の形・意味を理解している。また、ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり、好きな物語について調べた事項を整理・理解している。 【技能]関係疑問文の理解をもとに、ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり、自分で調べた事項を用いて、考えや理由などを話して伝え合う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にして書かれた物語の文脈について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな物語について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや理由などを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にして書かれた物語の文脈について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな物語について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	・指導事項 【題材内容】 世界最小の鳥であるハチドリを紹介する記事とハチドリの物語を通して、不断の努力と不屈の心について考える。 【言語材料】 関係疑問文 【言語活動】 自分の好きな物語を英語で紹介することができる。 ・教材 上記に同じ ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○		○	○	○	13	
定期考査		○	○	○	○		○	○	○	1	









